

## ガソリンエンジン車を上回る電気自動車 (EV) を開発する プロジェクトのご案内

2014年7月7日

株式会社SIM-Drive取締役会長 福武總一郎

株式会社SIM-Drive代表取締役社長 田嶋伸博

1916年にスタートし、インディ500マイルに続く世界で2番目に古い世界的に権威のあるレースである、パイクスピークインターナショナルヒルクライムは、いよいよ2015年で100年、2016年には100周年を迎えます。

自動車産業発展における長い歴史の中で本レースが大きな節目を迎える年に、電気自動車がガソリンエンジン車を越える性能を証明することで、環境問題とエネルギー問題の解決を目指す電気自動車の普及にとって、素晴らしいタイミングとなります。

この記念すべき歴史的な大会で、電気自動車の素晴らしい性能を証明するのと、更なる大きな可能性を広く世界にアピールするべく、多くの皆様方に本プロジェクトにご参加頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。



写真：2014年パイクスピーク インターナショナル ヒルクライムのゴールシーン

## 当プロジェクトの意義と狙い

我々は2012年から電気自動車でパイクスピークインターナショナルヒルクライムに挑戦を始めました。初年度はクオリファイで素晴らしい成績を残すことができたが、残念ながら決勝ではマシントラブルでリタイアを喫した。

その雪辱を晴らすために、2年目の2013年は万全の態勢で臨んで、期待通りに大手自動車メーカーワークスチームを抑えて、電気自動車クラスでぶっちぎりの優勝をすることができた。

しかし同年フランスからプジョー社が自動車メーカーとしての総力をあげて、膨大な予算と時間、そして最高のドライバーを用意して参加してきた。その結果は前人未到の8分台と言う、驚異的なタイムで総合優勝した。

私達は3年目となる今年、昨年に引き続き電気自動車クラスでの連覇はもちろん、総合でもガソリンエンジン車の成績を凌ぐことを目標に挑戦しました。しかし現在のマシンの総合力では、まだガソリンエンジン車を越えることができず敗退してしまいました。

4年目の挑戦となる2015年、更には5年目で100周年の歴史的に大きな節目となる2016パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムで、ガソリンエンジン車を越える性能を有する電気自動車の開発を決断しました。

そこでこのプロジェクトへの参加企業や優秀なエンジニアを幅広く募集したいと考え、この企画書をお送りする次第です。

電気自動車の技術を高める目的と、その技術を世界中にアピールすることで地球温暖化を止めるための一大キャンペーンにしたいと考えています。是非とも関係各位の本プロジェクトへのご参加をお願いします。

## プロジェクト概要

### ①プロジェクト名

パイクスピークインターナショナルヒルクライム電気自動車改造クラスマシンの開発

### ②マシンの仕様

オールホイールドライブ(AWD)の電気自動車

### ③参加募集カテゴリ

モータ開発	軽量シャーシ&車体の開発
バッテリー&BMSの開発	CFRPコンポジットの開発
インバーター開発	ポリカーボウインドウの開発
四輪独立制御開発	エアロダイナミクス開発
ビークルコントローラ(VCU)の開発	擬似音の開発
インストゥルメントの開発	GPSを使ったナビシステム開発
ワイヤーハーネスの開発	コミュニケーションシステム開発
競技用タイヤホイールの開発	ロジスティック関係
アクティブサスペンションの開発	ホスピタリティ関係
ABSの開発	チームウェア関係
トラクションコントロールの開発	電動工具関係
電動パワーステアリングの開発	発電機
ヨーコントロールの開発	急速充電器

### ④参加費用

一口1000万円

### ⑤研究開発エンジニアの派遣(教育研修を含む)

研究開発に必要な機材、及び部品用品の提供

### ⑥プロジェクト開始時期

2014年7月7日より

### ⑦参加企業の締め切り

本プロジェクトの終了まで。(各カテゴリで先着順に優先とさせていただきます)

## 参加企業メリット

- ①当プロジェクトへの参画企業であることを、貴社の広報活動でご活用いただけます
  - ・チームの肖像権使用許諾
  - ・レースカーへの社名ロゴ表示
  - ・プレスリリース、チーム公式WEBサイト、プロジェクト広報媒体への社名ロゴ表示
  - ・静止画提供・動画提供
  
- ②当プロジェクトのメディア取り上げによる露出を見込めます
  - ・本レースに対しての、各国での様々なメディア露出
  - ・本プロジェクト取材等による各メディアへの露出
  - ・展示会等への展示による露出
  
- ③当プロジェクト参加企業によるオープンソース技術を相互活用可能  
(但し株式会社SIM-Driveが管理調整します)

## お申込み、お問い合わせ先

株式会社SIM-Drive (株式会社シムドライブ)

プロジェクト事務局 徳田 靖

E-mail: [tokuday@sim-drive.com](mailto:tokuday@sim-drive.com)

WEB site: <http://www.sim-drive.com>

東京オフィス

〒174-0043 東京都板橋区坂下3-1-5 TAJIMA板橋志村坂下ビル4F

TEL: 03-3966-1237 FAX: 03-5392-5955